

＜「親子で登る自立の坂道」期：「子が親離れしていく」編－1＞

対象（時間）：小学4～6年生の親（110分程度）

体と心の変化 ～子どもの思い、親の戸惑い～

【ねらい】子どもの成長に戸惑う自分自身をみつめなおし、自立しようとする子どもの気持ちを理解し支えることについて考える。

【準備物】学習者：筆記用具

主催者：名札、ワークシート、アンケート用紙、模造紙（各グループ1枚）、フェルトペン（裏写りしないもの）、マグネット、ホワイトボード

時間	アクティビティの展開	留意点	備考
：	○名札付け（来た順に）	○全員が名札をつける。（ニックネームも書く。）	※スケジュールを板書しておく。
（5分）	○ファシリテーター（学習支援者）自己紹介、主旨・ルール等説明	○和やかな雰囲気づくりに配慮する。 ○写真を撮る場合は、予め了解を取る。（肖像権）	・机は講義形式
（15分）	アイスブレイク 「あなたの誕生日は？」 ①手遊び（ゲー・チョキ・パー） ②黙って誕生日順に並ぶ。 ③「1・2・3」の番号 ④同じ数を言った人同士でグループに分かれて自己紹介（「ニックネーム：○○と呼ばれています△△です」）	○初対面の人同士の場合、自由に意見を出し合うためのウォーミングアップとする。 →誕生日は個人情報なので、覚えて悪用しないように注意を促す。 →分けたいグループの数で番号をかける。	・机を撤去 ・グループ数に応じて、机を配置
（5分）	<エピソードを読みましよう>P2 ○黙読（または音読）	→配役を決めて読んでもおもしろい。	
（10分）	<考えましよう、出し合いましよう> ○P2の設問に記入 ○グループで意見交流	○三つの約束（発言の平等、人の発言を肯定、秘密の保守）、ただし、言いたくないことは発表しなくてもよい。（パス有り）	
（15分）	○P3の設問に記入 ○グループで意見交流	→それぞれ1つの枠に書いてもらう。（残りの枠は、グループの他の人の意見を記入する。）付箋紙に書いてもよい。	
（20分）	○「思春期の子どもの特徴」「対応方法」を模造紙にまとめる。	○思春期の子どもの特徴を探る。 ・様々な子どもの様子を知り、いろいろな対応方法に気づいてもらう。 ・自分の対応方法を振り返る。 ○お互いの対応方法を聴き、決してこうあるべきだと押し付けにならないように配慮する。	
（10分）	グループごとに発表	○模造紙をホワイトボードに貼って、簡単に説明する。	
（10分）	【資料】を読みましよう（P4）	→時間があれば、全体で意見交流	
（15分）	<学習を振り返りましよう> ○ワークシートへの記入 ○ファシリテーターの話	※時間があれば☆、県民の声も読む。（県民の声は必ずしも「模範解答」ではなく、いろんな意見があるということを示すためのもの）	
（5分）	○終了・片付け ○アンケート記入	→参加者全員で行う。 →アンケート記入者から流れ解散	・現状復帰

〈メモ〉